

わ 和 輪

H22.11.12
飯豊町立第一小学校
3 学年通信
No.12

一っ子フェスタ大成功！

たくさんのおうちの方に見ていただいた一っ子フェスティバル。ご覧いただきありがとうございました。練習の時とは違い、体育館いっぱいに見え、ステージに立った子どもたちはやはり緊張しているように見えました。傍から見ていた担任も「大丈夫かな。」と緊張してしまいました。しかしその思いは無駄でした。大きな声で、堂々とした発表ができました。不安に思っていたカードの操作もきれいにそろっていて、おうちの方には迫力すら感じていただけたのではないのでしょうか。

実は、練習中に付け足した動きもたくさんありました。覚えるのはとても大変だったと思います。長い長いセリフも覚えて立派でした。歌も、心を精一杯込めて歌えていましたね。きれいなハーモニーをお届けすることができました。

おうちの人から褒められた！と嬉しい声も聞かれました。どうもありがとうございました。



一つ子フェスティバル

長岡真純

わたしは、一つ子フェスティバルをとて楽しんでいました。だけど、次が出番の時は、すぐくすぐきんちようしました。

まくが開くと、そこには思っていたい上のお客さんがいました。たくさんのお客さんがいたので、顔も上げられないくらいでした。

そして、さやちゃんの「この山かわかりません。」というせりふが始まりました。その時はきんちようしてどきどきしていたけれど、進んでいくうちにだんだん落ち着いてきました。マラソン大会の絵を見て、がんばろうと思いました。

先生に言われたように、ゆっくり、声を大きくしました。だけど、練習より本番の方が早く感じました。

げきが終わってから、せいこうしたかなと思いました。

一つ子フェスタ

樋口銀兵

ぼくたち三年生は、泣いた赤おにを発表しました。ぼくはきこりの役でした。

歌を歌いながら出てくるので、きんちようしました。でも、あつき君と二人だったので、うまくできました。その後、ぼくのセリフで笑いが起きて、うれしいうような、はずかしいような気持ちになりました。でもちゃんときこりのセリフをさい後まで言う事が出来たので良かったです。でももう少し大きな声を出せばよかったかなあと思いました。

みんなで歌った歌は大きな声でそろって、うまくできたので良かったです。来年もがんばりたいです。

子供達なりに感じたこと、考えたことがたくさんあったようです。作文を読んでいて、気持ちがよく伝わってきました。中には、手や足が震えていた人もいたそうです。一つ子フェスタ大成功やったね♡♡

一つ子フェスティバル

伊藤千紘

わたしは、一つ子フェスタで泣いた赤おにのげきをしました。さいしよはかなりきんちようしたけど、がんばりました。

でも、カードを出すのをわすれてしまったので、はるかちゃんとますみちゃんに教えてもらいました。さい後には、泣きそうになりました。

わたしは、こんなにお客さんが来ているとは思いませんでした。さいしよはお母さんたちを見つけれませんでした。でも、お母さんたちが帰る時、心の中で、「見に来てくれてありがとうございます。」と言いました。

一つ子フェスティバル

渡邊凌太郎

ぼくは、一つ子フェスティバルに行きました。始めにいすにすわった時は、すぐきんちようしました。ぼくが言うせりふの「それでは、やっぱりゆだんのできないあやしいやつだとかだれでも思う事でしよう。」を言う時は、もっときんちようしました。でもと中からは、ちよっときんちようしなくなりました。泣いた赤おには、感動のある話です。えんぎはすごく楽しかったし、さい後は感動しました。今日は楽しかったです。泣いた赤おには、とってもいいお話です。